

# 平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

## 第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月30日(水) 二回戦

Bコート 第4試合 深谷総合体育館 (深谷ビッグタイトル)

チームA		32 - 15		チームB
福岡大学附属大濠	115	18 - 20	86	県立佐賀北
福岡		29 - 23		佐賀
		36 - 28		

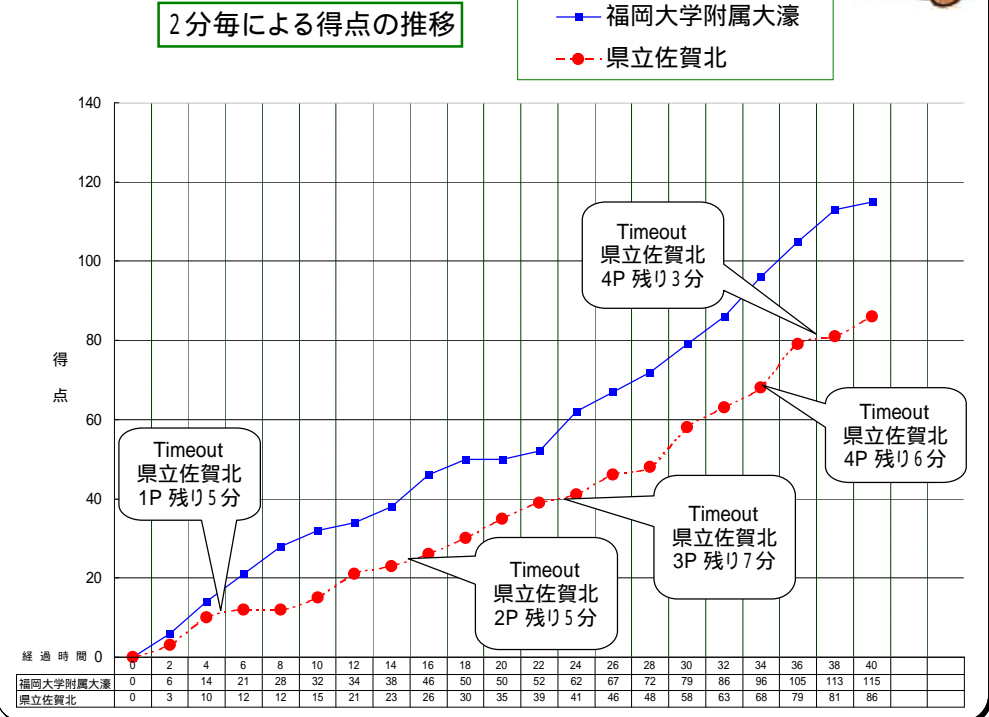
### 福岡大学附属大濠

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	大下内仁	X	21	0	0	9	13	3	3	0	4	1	0	1	1	0	33
5	下釜康輔	X	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
6	大塚勇人	X	13	2	3	1	4	5	8	4	0	2	4	6	6	0	31
7	上野翼	X	21	0	1	8	16	5	6	0	0	2	4	5	5	2	31
8	岸翔太郎	X	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4
9	二宮弘憲	X	25	0	0	10	14	5	5	4	5	11	7	0	0	1	39
10	長谷川智伸	X	11	0	1	2	7	7	7	1	1	0	2	1	1	1	12
11	永野俊輔	X	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
12	水口雅也	X	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
13	花田アマースイ真平	X	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
14	矢嶋瞭	X	20	0	3	7	15	6	6	3	3	4	3	0	0	1	32
15	藤原宏伸	X	2	0	0	1	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
コーチ	田中国明									0	4	3					
出場: ×は先発、/は出場	115	2	9	39	75	31	35	17	17	26	20	13	13	5			200
確率	22.2%			52.0%		88.6%			計	43							

### 県立佐賀北

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	脇山龍太郎	X	7	2	5	0	2	1	2	4	1	2	1	2	1	2	27
5	山田和明	X	5	1	1	1	4	0	0	2	0	0	1	0	1	0	11
6	伊東雅也	X	4	0	1	1	4	2	2	2	1	0	2	2	3	0	25
7	馬場有	X	12	4	7	0	0	0	0	4	1	0	1	0	2	0	14
8	白濱僚佑	X	4	0	0	2	2	0	0	5	1	0	0	0	0	1	9
9	公文貴士	X	2	0	0	1	3	0	0	3	5	0	6	3	1	0	21
10	永淵友啓	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
11	大峰龍盛	X	24	3	11	6	12	3	3	4	0	3	6	1	3	3	39
12	宮原壮一郎	X	2	0	0	1	1	0	2	0	2	0	1	1	0	0	4
13	田中努	X	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4
14	船津誠人	X	26	0	0	11	22	4	6	2	6	5	5	1	4	2	40
15	西津俊輔	X	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2	0	0	0	5
コーチ	北島寿人									0	2	9					
出場: ×は先発、/は出場	86	10	25	23	51	10	15	28	19	21	26	10	16	8			200

### 2分毎による得点の推移



### 戦評

1回戦の接戦に勝利した佐賀北と厳しいディフェンスからの速い展開をする福岡大大濠の対戦、試合巧者の福岡大大濠がベンチ入り全員出場て勝利した。  
 第1P、両チーム共にハーフコートマンツーマンで入る。福岡大大濠は、ディフェンスで粘り、ターンオーバーや、リバウンドからの早い攻めで得点をする。残り5分で佐賀北は、タイムアウトを取るが、流れは変わらず32対15で終了。  
 第2P、流れを引き寄せたい佐賀北は、#14船津の1対1やミドルシュートで勢いに乗る。しかし、第2Pから入った福岡大大濠#10長谷川のミドルシュートやリバウンドで50対35で前半終了。  
 第3P、福岡大大濠は、#7上野の1対1、#14矢島の速攻などで得点し、一方佐賀北は、#11大峰の1対1からドライブインや3Pシュートで応戦するが、79対58で第4Pへ。  
 第4P、追撃したい佐賀北は、#14、船津#11大峰、#7馬場の3Pシュートで得点するが、福岡大大濠#4大下内、#9二宮のインサイドの1対1で確実に得点を伸ばし115対86で福岡大大濠が振り切った。

主審	片寄達	副審	吉宇田 太一	戦評	大久保 英人 (埼玉県高体連)
----	-----	----	--------	----	-----------------